

**リアルタイム顧客データ統合の Tealium、
11月15日に年次カンファレンス Digital Velocity Tokyo 2018 を開催**

Tealium Japan では今年で 3 回目となる年次カンファレンスを 11 月 15 日（木）に開催。ユーザーであるソニーマーケティング、NEC、豪州ラグビークラブ Cronulla Sharks 社や、パートナーの博報堂、TIS などが、デジタルトランスフォーメーションをテーマに、リアルタイムデータ連携および卓越したカスタマーエクスペリエンスの提供を実現するための方策を明らかにします。

2018年10月25日(木)東京発 - リアルタイムの顧客データオーケストレーションソリューションのリーダーである Tealium Inc.の日本法人、ティーリアムジャパン株式会社（本社：東京都港区、カンントリーマネージャー 安藤 嘉教、以下 Tealium）は、同社の年次カンファレンス「Digital Velocity Tokyo」を本年も開催することを発表しました。

「Digital Velocity Tokyo」は 2018 年 11 月 15 日（木）にザ・リッツ・カールトン東京にて開催する予定で、デジタルトランスフォーメーションをテーマに、ユーザー企業、戦略パートナー、業界イノベーターが一堂に介します。同カンファレンスでは、リアルタイムの顧客データがいかにカスタマーエクスペリエンス向上に影響し、成功をもたらすかについて、実用的な知見とともにその方法について明らかにします。

本年のカンファレンスは、特にリアルタイムデータ連携の実現にフォーカスしたプログラム構成になっています。ソニーマーケティング株式会社 カスタマーリレーション部 マーケティングマネージャー 橋本好真（はしもと よしまさ）氏の講演では、Tealium で顧客データをリアルタイムに統合し、どのように顧客に寄り添った One-to-One コミュニケーションを実現しているかについて共有いただきます。さらに、日本電気株式会社 本部長代理 東海林 直子（しょうじ なおこ）氏より、モバイルアプリやコーポレートサイト、法人営業組織などの垣根を超えた「セグメンテーションの変革」をいかに実現しようとしているかについて共有していただきます。

来場者はその他、Tealium の最新情報やベストプラクティスも聴講することができます。また、



Tealium のイノベーションおよびロードマップだけでなく、データドリブン（駆動型）のカスタマーエクスペリエンスにおける 4 つの支柱についてのガイダンスや、AI（人工知能）や ML（機械学習）の時代に対応するためのデータ処理についての洞察も共有します。

さらに、セミナーセッションの後に、来場者と業界関係者との懇親会を開催します。また、懇親会では、Tealium ユーザー企業のうち、Tealium を活用して優れたデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングに挑む企業へ賞を贈呈するアワード授賞式も開催されます。

ティーリアムジャパン株式会社 カントリーマネージャー 安藤 嘉教（あんどう よしのり）は、次のようにコメントしています。「Digital Velocity 2017 では、約 500 名に及ぶクライアントとパートナーの皆様にご参加いただき、国内におけるデータに関する知識と能力の向上の動機付けができたかと思います。本年のイベントでは、厳格なプライバシーに関する法律およびマルチスクリーンのインタラクションの時代に役立つ、最新の豊富な知見とベストプラクティスをご提供する予定です。」

カンファレンスの詳細およびご登録については以下をご覧ください。

<https://digitalvelocityconference.com/tokyo/>

Tealium について

ティーリアムは、ウェブ、モバイル、オフライン、IoT で増え続ける顧客データフローを管理するためのユニバーサルなアプローチを提供することで、今日のデジタルビジネスに革命をもたらしています。Tealium の Universal Data Hub（ユニバーサルデータハブ）は、顧客データを信頼できる唯一の情報源に統合する技術と、1000 以上のベンダーとテクノロジーに対応したターンキーの総合エコシステムを備えています。それにより企業は、リアルタイムに統合されたデータを活用して、あらゆるチャネルでより綿密にパーソナライズされたデジタル体験を提供できます。詳細は www.tealium.com をご覧ください。